

イチゴ狩り お待ちかね 三田の7園オープン



イチゴ狩りを楽しむ学生ら（三田市で）

語呂合わせで「いちごの日」とされる15日、三田市末の「稲鍵ファーム」で、市内の観光イチゴ園7園のイチゴ狩り本格オープンを祝う式典が開かれた。

式では、市観光協会の見野裕重会長が「イチゴは三田に欠かせない風物詩」とあいさつ。予約制でイチゴ狩りを楽しめる観光農園が紹介され、大阪成蹊大（大阪市）の学生らが、外国人観光客の誘致策を発表。イチゴ狩りに加え、市内の和菓子店

と連携し三田産もち米を使ったイチゴ大福作り体験を提案した。

式典後、学生らはイチゴ狩りを満喫し、2年滝上かなさん（20）は「大きくて、すごくおいしく大福にも絶対合う。自信をもって紹介したい」と語った。

16～18日午前9時から、農産物直売所「パスカルさんだ一番館」で朝採りイチゴを1パック（約250g）700円（税込み）で販売する。売り切れ次第終了。